

にしおの

一生の思い出に
特別な結婚式を

おっ!



岩瀬文庫の前での記念写真。100人以上の参列者が集まり、広場が人でいっぱい



入り口付近の小道を木や花で飾り付けてバージンロードに

岩瀬文庫

思い入れのある場所で結婚式がしたい——市内の意外な場所です。たく結婚式を挙げた方たちがいます。

大西政義さんと佑美さん（旧姓鈴木）は、2月19日に岩瀬文庫前広場（鶴城公園内）で結婚式を挙げました。文庫の近所で生まれ、文庫を身近に感じて育った佑美さん「実家に近く、家族にも喜んでもらえる」この場所での結婚式をずっと夢見ていました。「みんなと違うことをしたいし、面白いと思っただい政義さんも賛成し、実現に向けて準備が始まりました。

この場所です。結婚式が行われるのは初めてのことで「自分たちも家族も友人も、どんな式になるか想像できない。やってみなければ分からない」手探り状態の中、佑美さんは文庫や市の公園管理担当者と話し合いが何度も必要で、少し大変だったそうです。それでも「いろんな人の協力で無事に式を挙げる事ができた」と2人。

司会やヘアメイク、写真撮影を親しい友人にお願いし、車の誘導なども協力してもらいました。

前日の雨と打って変わり、当日は澄んだ青空が広がりました。バージンロードの先には、のれんが掛けられた手作りの舞台。指輪の交換や誓いの言葉の宣誓が行われた後、フラダンスや歌が披露され、笑顔いっぱいになりました。

家族や友人だけでなく、近所の方やたまたま広場にいた方も一緒に祝いに参加してくれました。「こんなにたくさん集まってくれるとは。想像以上に幸せな式だった」訪れるたびに式の思い出がよみがえり、文庫はこれまで以上に特別な場所になったそうです。



5月に長男琥太郎くんが誕生。「3人で公園で遊ぶのが楽しみ」

佐久島

岐阜県出身の川島和樹さんと香里さん（旧姓遠藤）は28年3月5日、佐久島で結婚式を挙げました。普段島で式を行うことはありませんが、島の方たちの厚意で、特別に行うことができました。

旅行中に立ち寄って魅了され、その後何度も訪れるようになった佐久島。「自分たちらしく、ゆったりとした結婚式ができる」2人にぴったりなこの場所で式を挙げることに決めました。

当日は快晴に恵まれ、島の雰囲気も最高。潮風を受け、大島と海を背景にイーストハウスを並んで歩むと、友人から祝福の言葉が贈られました。「島の人たちもおめでとうと祝ってくれた」と和樹さんゆっくりと時が流れ、温かい雰囲気にも包まれた式になりました。

この夏も佐久島を訪れたという2人。のんびり過ごす島での時間をいつも楽しみにしています。



観光客に人気のアート・イーストハウスがバージンロードに

こだわりの場所で新たな人生の門出を迎えた2組。どうぞ末永くお幸せに。
（金原拓矢）